

科目名	美容芸術研究	Subject	Study of Art of Beauty
サブタイトル	美容芸術の表現と作品制作		
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術 社会実装
2 年	後期	必修	
授業形態	単位	時間	
演習	2 単位	30 時間	◎
ゲストスピーカー招聘回			
教員名	富田 知子	メールアドレス	ttomita@・・・
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】		
実践的教育	○美容師の経験を基に授業を構成する		
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。		

科目の概要								
美容表現とは人体を含む芸術表現と捉え、自身の思う世界観をそこに投影する。イメージソースの収集からアイデアコンセプトを明確にし、美容デザイン演習Ⅱの人体表現作品に続くベースのアイデア構築を平面の作品の中で行う。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	○	-	○			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
社会実装	現代における美容表現の実態を知り、表現できるようになる。							
教科書・教材								
教科書	なし							
参考文献	図書館資料及び Web 情報 展覧会等							
各自準備教材	制作に関する材料							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	20%	-	-	-	80%	-	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
全体講評会で口頭で行う								
履修上の条件・注意								
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーションとコンセプトメイク	美容表現の現状を理解しコンセプトについて考えられる	表現のための情報収集	240 分
第 2 回	作品制作の準備	コンセプトを明確に構成できる	表現のための情報収集	240 分
第 3 回	作品制作 1 コンセプトの構築	コンセプトを形態として構成できる	表現のための情報収集	240 分
第 4 回	作品制作 2 コンセプトの中心になるポートレートの選択	コンセプトを作品として人物像に落とし込める	表現のための情報収集	240 分
第 5 回	作品制作 3 コンセプトの中心になるポートレートの制作	自身で素材を決め制作できる	表現のための情報収集	240 分
第 6 回	作品制作 4 制作方法を決定	方法を工夫し制作を進めることができる	表現のための情報収集	240 分
第 7 回	作品制作 5 構図を決める	課題を意識し制作を進めることができる	表現のための情報収集	240 分
第 8 回	作品制作 6 下書きの完成	課題を意識し制作を進めることができる	表現のための情報収集	240 分
第 9 回	作品制作 7 下塗り	課題を意識し制作を進めることができる	表現のための情報収集	240 分
第 10 回	作品制作 8 細部の制作 1	課題を意識し制作を進めることができる	表現のための情報収集	240 分
第 11 回	作品制作 9 細部の制作 2	課題を意識し制作を進めることができる	表現のための情報収集	240 分
第 12 回	作品制作 10 全体の構成の確認	全体の構成を意識し制作を進めることができる	表現のための情報収集	240 分
第 13 回	作品制作 11 全体の構成の修正	全体の構成を意識し制作を進めることができる	表現のための情報収集	240 分
第 14 回	作品制作 12 完成させる	課題を意識し作品を完成させることができる	表現のための情報収集	240 分
第 15 回	作品制作と作品撮影	課題を意識し作品を完成させることができる	完成作品に関するレポート	240 分